

別府のアートをご紹介 別府市内でおこなわれている、文化・芸術に関するさまざまな活動の一部をご紹介します。

アート体験できるさまざまなイベント

■ ペップ・アート・マンス
文化・芸術に関わるたくさんのイベントを集めた市民文化祭『ペップ・アート・マンス』。2010年から毎年開催し、100を超える企画者が、多彩な表現を披露します。

■ Art Fair Beppu
アーティストと出会い、交流して作品を購入することができる新しいアートフェア。2023年よりプレ事業として開催し、2025年からの本開催が予定されています。



■ まつばらマルシェ、TRANSIT MARKET
この土地ならではのこだわりや特色を持つ生産者、料理人、工芸家、アーティストなどを紹介するマルシェ & クリエイターズマーケット。



まちで出会えるアート作品

■ ALTERNATIVE-STATE
2025年までの4年間で市内各地に8つのアート作品を設置するプロジェクト。それぞれの作品を通して、いつもと異なるまちの表情を楽しめます。

撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)
© 混浴温泉世界実行委員会



■ 壁画アート
中心市街地の路地裏や公共温泉の壁面など、さまざまな場所にアーティストが壁画を制作。まちを歩きながらアートに出会えます。



アーティスト・クリエイターのみなさん、別府で制作しませんか？

九州の北東部、大分県の東海岸のほぼ中央に位置する別府市は、鶴見岳から別府湾へ向かって扇形に広がる町です。市内には別府八湯と呼ばれる8つの温泉郷があり、湧出量・源泉数はともに日本一。無数の湯けむりが立ちのぼる温泉観光地ですが、近年は文化的・創造的な活動も盛んで、移住を希望するアーティスト・クリエイターも増えています。豊かな自然や温泉が身近にあるこの場所で、あなたも表現活動をしませんか？



別府市では『文化観光の推進とアーティスト・クリエイター移住・定住計画』に基づき、別府市への移住を希望するアーティスト・クリエイターに向けた、さまざまなサポートをおこなっています。この計画の重点エリアとなっているのが、別府駅から少し南に位置する『南部・浜脇地区』です。このエリアは別府温泉発祥の地とも呼ばれ、歴史ある建築物や祭・行事も多く残っています。かつては竹工芸などの職人が多く住む、ものづくりの盛んな地域でもありました。



TRANSIT 別府市創造交流発信拠点『TRANSIT』

アーティスト・クリエイターの別府への移住・定住や創造的な活動をサポートし、地域と繋ぐ拠点施設として、2023年1月に開設しました。移住したアーティストやクリエイターの活動を紹介する展示室と、別府市内の文化・芸術に関する情報発信、移住支援、地域や企業の課題を創造的に解決する人材とのマッチングなどをおこなう相談室を併設しています。アーティスト、企業、地域団体など、これまでに受けた相談は100件を超えます。

TRANSITは昭和3年に建設された『レンガホール』の一部を別府を拠点とする建築設計事務所「DABURA.m」が設計しリノベーションした施設です。



Facebook



Instagram



X

1 「アーティストと空き家を繋ぐ」移住に関する相談窓口

「広い場所がほしい」「大きな音を出したい」「自分で改装したい」... アーティストが希望する物件の条件はさまざま。そんな要望に応えるべく『TRANSIT』では地域の方から、随時空き物件の情報をお寄せいただいています。お気軽にご相談ください。

移住の先輩に聞いてみよう！

これまでに別府市に移住したアーティスト・クリエイターは、何がきっかけで移住を決めたのでしょうか？2人の先輩に聞いてみました。



勝 正光 さん

画家、現代美術作家

移住年：2009年／以前の居住地：東京都

『混浴温泉世界 2009』に参加するために、はじめて別府に来ました。当時の私は、東京での作家活動に窮屈さを感じていたため、別府ならではの温泉文化や、すべての人を分け隔てなく受け入れ親切に接する「ねんごろ力」に触れ、感銘を受けました。そして、築約70年の元下宿アパート『清島アパート』で活動を公開したときに、身分や立場も関係なく多くの人で賑わう環境を体感し、別府での表現活動に手応えや、窮屈さを払拭する可能性を感じ、移住を決めました。現在は共同温泉『末広温泉』の組合長や、末広町自治会組長代表など、地域のなかで多くの役割を担い、別府の「ねんごろ力」を自らも体现できるよう意識して生活しています。



桑原ひな乃 さん

現代美術家

移住年：2024年／以前の居住地：埼玉県

撮影：JUNKI GOTO

2024年の4月に、関東から別府に移住することが決まっています。移住のきっかけになったのは『Art Fair Beppu』に出展し、別府で県内外のさまざまなアーティストと交流する機会を得たことで活動の可能性を感じたことです。『TRANSIT』でアーティスト向けの物件を紹介していると聞き、問い合わせたところ、すぐに相談に乗っていただき、大家さんの紹介までスムーズに対応していただきました。移住後は、教員の仕事をしながら自宅で制作をしたいです。アーティストだけでなくさまざまな方々と交流したいと思っています。

2 「アーティストと地域・企業を繋ぐ」地域や企業の相談窓口

『TRANSIT』では、地域や企業からの相談を受け、課題を創造的に解決するための発想力や技術を持つアーティスト・クリエイターなどをご紹介します。ここでは、これまでにマッチングが成立した協働事例の一部をご紹介します。



大平 由香理が共同浴場『末広温泉』の男湯に描いた壁画をモチーフにデザイン



コインを重ねた形状を「風呂桶」に見立て、湯気が沸き立つ様を表現したロゴ

別府市バックボードのデザイン制作

依頼者：別府市

アーティスト：

大平 由香理（アーティスト）

オノデラマサト（デザイナー）

Tomohiro Hanada（アーティスト・写真家）

市制100周年を迎える別府市のPRを兼ね、記者会見等のバックボードのデザインを制作。別府市在住あるいは別府市にゆかりのある3名のアーティスト・クリエイターによる、別府らしさを表現したバックボードが3種完成した。

電子エール券アプリ『Sento』デザイン

依頼者：別府市プレミアム付商品券実行委員会

クリエイター：バラボラ舎 たなかみのる（デザイナー）

別府市電子エール券アプリのネーミング、ロゴ、アプリのアイコンを、デザイナーたなかみのる氏が制作。「地域経済をあたためる」をコンセプトに『Sento』（=泉都）と名づけ、幅広い世代に親しまれる別府らしいデザインとなった。



小学生18人が「未来の世界をつくろう」をテーマに思い思いに作品を制作した

令和5年度べっぴん浜脇薬師祭り見立て細工講師

依頼者：別府市南部地区公民館

アーティスト：八木 萌（アーティスト）

地域の子どもの対象に例年開催している、別府市の無形民俗文化財「風流見立て細工」を作るワークショップの講師をアーティストの八木 萌氏に依頼。八木氏のサポートを受けて完成した作品は「べっぴん浜脇薬師祭り」に出展された。



学生が立案したプランを絵で表現しながらアドバイス

産学連携イベントでのワークショップ講師

依頼者：オリックス・ホテルマネジメント株式会社

アーティスト：勝 正光（アーティスト）

人材育成と別府観光活性化を目的に、依頼者と生命館アジア太平洋大学が共同で実施したイベントの、企画立案ワークショップ講師を勝 正光氏に依頼。2日間にわたり、学生へのアドバイスやキービジュアルの作成などをおこなった。

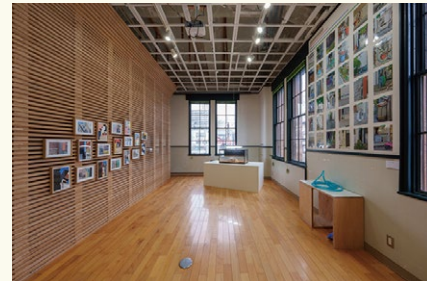
3 「地域のアートを発信する」情報発信窓口

別府市内の文化・芸術に関するイベント情報を、WebサイトやSNSで随時発信。

『TRANSIT』の相談室には、全国のアートイベントの広報物や、アーティスト・クリエイター向けお役立ち情報の資料なども揃えています。

4 「展覧会・イベント」アーティスト・クリエイターの発表の場づくり

『TRANSIT』の展示室では、移住してきたアーティスト・クリエイターの活動紹介や、地域の文化、芸術、産業に関する展示やイベントなどをおこなっています。2023年度は4つの企画展と、5つの公募展を開催しました。



3名のアーティストによるグループ展『清島アパート 2023 活動成果展 前期 都市への眼差し』
photo: Takashi Kubo

企画展

移住してきたアーティストの活動を紹介。別府から世界に羽ばたく過渡期にあるアーティスト・クリエイターを紹介する展覧会『transition』シリーズや、アーティスト専用アパート『清島アパート』の活動成果展などを開催しました。



『社会福祉法人 ベっぴんゆう』による、施設利用者が描いた絵画や手書き紙などの展示

公募展

別府市内外のアーティスト・クリエイターや別府市に拠点施設をもつ企業などを対象に、展示室での企画を公募。自身の活動発表の場として、また地域や来場者との交流の場として、特色あるさまざまな展覧会が開催されました。

5 アーティスト・クリエイター支援はほかにもたくさん

アーティスト・クリエイターへの活動補助金

『アーティスト・クリエイターによる別府の魅力発信活動事業』

アートやデザインなどを活用し、別府の魅力を国内外に発信するための活動に対し、費用の一部を補助。2023年度は、地域のリサーチをもとにした展覧会や、竹細工を用いたレクリエーションなど、ユニークな企画が実施されました。



別府・対馬・韓国のアーティストが交流し展覧会を開催



竹で制作したラケット『TAKETTO』を用いた卓球体験

表現活動のための

マネジメント&コミュニケーション講座

アーティスト・クリエイターが活動を続けていくうえで必要な知識を、ともに学ぶ人材育成講座。NFT、知的財産、契約、会計・税務、語学、コミュニケーションなどの専門家を講師に招き、講座を開催しました。



アーティスト専用アパート『清島アパート』

戦後まもなく建てられた元下宿アパートを、市内アートNPOのBEPPU PROJECTが2009年からアーティストの住居兼アトリエとして活用しています。これまでにのべ240名を超えるアーティストが滞在し、別府への移住・定住のきっかけにもなっています。長期滞在（1年間）と短期滞在（30～90日間）の2つのプログラムがあります。



清島アパート Webサイト

アーティスト・クリエイターのためのレンタルスタジオ『BEPPU STUDIO』

『南部・浜脇地区』の空き物件を改修したレンタルスタジオ『BEPPU STUDIO』。作品制作や発表、トークやワークショップの実施など、文化・芸術に関するさまざまな活動に利用することができます。今後もさまざまな物件を活用した『BEPPU STUDIO』が造成される予定です。詳細はBEPPU PROJECTのWebサイトをご覧ください。



BEPPU PROJECT Webサイト

秋葉通り沿いにある空き物件を改修した『BEPPU STUDIO 01』